様式２

プラスチック一括回収の方策に関するヒアリング　概要書

１　申込者情報

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 企業・団体名 |  | | | |
| 所在地 |  | | | |
| グループの場合  構成事業者名 |  | | | |
| 担当者 | 氏名 |  | 所属 |  |
| E-mail |  | | |
| TEL |  | | |

２　ヒアリング内容にかかる概要

|  |  |
| --- | --- |
| 必須 | 次ページ以降の質問形式に回答 |
| 任意 | 自社作成概要書を添付 |

提出書類の著作権は参加者に帰属します。ただし、本市が必要と認める場合は、本市は概要書類の全部又は一部を無償で使用・公表できるものとします。また、提出された書類は、神戸市情報公開条例に定めるところにより、公開される場合があります。

**〔各質問の回答方法〕**

（該当する回答の□を■にしていただけますよう、お願い申し上げます。選択肢以外の独自提案の場合は「その他」にお書きください。）

※回答可能な質問のみで結構です。

〇受入可能なプラスチックの基準

質問１：貴社における受入れ可能なプラスチックの大きさをご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 長さが50cm未満 |
| □ | その他（　　　　　　　　） |

質問２：貴社における受入れ可能なプラスチックの汚れをご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 容器包装リサイクル協会への引き渡しガイドラインに準じる |
| □ | その他（　　　　　　　　） |

質問３：貴社における再商品化の適物（製品になりやすい素材）、不適物をご回答ください

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 再商品化適物 |  | 再商品化不適物 |
| □ | ポリスチレン | □ | ポリ塩化ビニル |
| □ | ポリプロピレン | □ | ポリ塩化ビニリデン |
| □ | ポリエチレン | □ | ABS |
| □ | その他 | □ | ナイロン |
|  |  | □ | PET |
|  |  | □ | その他 |

質問４：特に定めている受入基準があればご回答ください。

（例: 塩素分 〇%未満 等）

|  |
| --- |
|  |

質問５：再商品化処理における不適物の処理方法についてご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 自社で処理可能  [対応内容例: 再商品化不適物はサーマルリサイクル] |
| □ | 自社で処理不可能  [市に返却等の対応をお書きください。 ] |
| □ | その他 |

〇受入条件

質問６：本市からの受入れ方法をご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 市収集車等による直接搬入 |
| □ | 市の施設等で引き取り（圧縮梱包なし） |
| □ | 市の施設等で圧縮梱包が必要（具体の条件：　　　　　　　　　　　　） |
| □ | その他 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） |

〇受入場所

質問７：受入施設の住所についてご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名： | 所在地： |
| 本市保管施設からの距離 |  |
| 東クリーンセンター | Km |
| 妙賀山クリーンセンター | Km |
| 布施畑環境センター | Km |

質問８：貴社事業所への輸送手段についてご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 貴社側で車両を用意し、輸送 [使用車両 ] |
| □ | 市側で車両を用意して、輸送 |
| □ | その他 |
| 備考 | |

質問９：受け入れ可能な曜日・時間帯についてご回答ください。

（詳細は今後協議することになりますが、現時点で日時に制限等があれば記載願います。）

|  |  |
| --- | --- |
| 曜日 | 月・火・水・木・金・土・日 |
| 時間 | ○○時○○分～○○時○○分 |
| 備考 | |

〇受入可能量

質問10：貴社の事業所での年間の受入可能量（搬入量ベース）をご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| プラスチックの種類 | 搬入量ベース |
| 容器包装プラスチック | ｔ/年 |
| 製品プラスチック | ｔ/年 |

〇受入開始時期

質問11：受入開始時期についてご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 2030年度以前（具体的な年次：　　　　年度） |
| □ | 2030年度 |
| □ | 2030年度以降（具体的な年次：　　　　年度） |

質問12：新たに施設を建設する場合、必要な敷地面積についてご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 敷地面積：　　　　　　　　　㎡ | 延床面積：　　　　　　　　㎡ |

質問13：新たに施設を建設する場合に必要な敷地についてご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 確保済み（賃貸含） |
| □ | 確保予定（賃貸含） |

〇再商品化手法及び再商品化工程

質問14：再商品化の方法はどのようにされているかご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | マテリアルリサイクル |
| □ | ケミカルリサイクル |
| □ | その他 |

質問15：再商品化に係る概略フローをご回答ください。

（主要な産品、利用方法がわかる程度にお示しください。また、再商品化不適物の処理方法も可能な範囲でお示しください。別資料等の添付でも構いません。）

|  |
| --- |
|  |

〇再商品化に要する費用の考え方

質問16：具体的な受託単価や考え方についてご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 単　価： | 円/ｔ （受入量ベース） |
| 考え方：  （回答例：料金表による、容リ協の処理単価と同等と設定、個別契約ごとに協議等） | |

質問17：「質問16」で回答いただいた、受託単価には、運搬単価（運搬費用）が含まれているかご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 運搬単価（運搬費用）は含まれている。 |
| □ | 運搬単価（運搬費用）は含まれていない。 |

〇施設が故障した場合の受入対応

質問18：貴社の事業所施設が故障した場合の受入対応についてご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 対応可能である ⇒備考 |
| □ | 対応は難しい |
| 備考： | |

〇再商品化工程全体の温室効果ガス排出量の低減に向けた取組

|  |
| --- |
|  |

質問19：二酸化炭素削減量、コスト等の試算のため、貴社における概略物質収支（受入れ量に対する再商品化率、残渣率等）を提供いただくことは可能かご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 概略物質収支は、[環境経営レポート、容リ協サイト 等]で公開。 |
| □ | 提供可能です。 |
| □ | 提供不可です。 |
| □ | その他 （ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

〇その他、事業実施に向け連携可能な事項（例：モデル事業実施、市民啓発など）

|  |
| --- |
|  |